

Rotary



白河西ロータリークラブ

SHIRAKAWA WEST ROTARY CLUB

2023～2024年度クラブ目標

創立1986年

『みんなが楽しい ロータリー』



世界に希望を生み出そう

2023-24年度国際ロータリーテーマ

会長 佐藤幸彦
幹事 村上堅二



第1772回例会

令和5年8月31日(18:30～19:30)

○ソング

- 奉仕の理想

○ビジター

関西大学社会安全学部教授 近藤誠司様、他10名

○スマイルBOX

●佐藤幸彦会長（CKB野球大会、無事終了しました。会員の皆様の御協力、ありがとうございました。関西大学、近藤先生始め、10名の皆様ようこそ。西山会員、卓話ありがとうございました。）

●村上堅二幹事（本日は西山様、ありがとうございました。関西大学の皆様、ご来訪ありがとうございました。）

●沼田重一会員（近藤先生、防災についての講話ありがとうございました。今後も福島との関わりをお願いします。野球愛好会の皆様、9月2日、頑張ってください。）

●池田浩章会員（関西大学社会安全学部 近藤誠司教授様、卓話ありがとうございました。学生の皆様、白河にようこそ。西山会員個人卓話お疲れ様でした。デザイナーとして大成するよう頑張ってください。お父様の件は私は知りません。あしからず。ロータリー楽しんでいきましょう。）

●金田昇会員（関西大学、未来のロータリアンの皆様ようこそ。西山会員、卓話ありがとうございました。）

●居川孝男会員（8月25日に税理士法人イカワ会計主催のインボイスセミナーを開催した所、130名を超える参加を賜り参加して下さった皆様ありがとうございました。今後RCでこれだけは知っておきたいインボイスについて話しますか？）

●永野文雄会員（ゲストの関西大学の皆様ようこそおいでくださいました。ありがとうございます。西山会員、卓話ありがとうございました。）

●宮本多可夫会員（関西大学、近藤先生始め、学生の皆さんようこそおいでくださいました。近藤先生のお話大変参考となりました。新人会員西山さん、卓話御苦労様でした。）

●運天直人会員（先日のラジオ福島の「お母さん教室」に諸橋会員が出演しました。出演していただいた諸橋さんありがとうございました。ランドセル事業のPRもしていただき、大変良い収録でした。職業奉仕のため中座致します。）

●成井正之会員（西山会員、卓話ありがとうございました。今週の大笑スマイルは45号1本でした。）

●大竹憂子会員（西山さん、卓話ありがとうございます。関西大学の皆さん、ありがとうございます。）

▶第1772回例会出席状況 (R5年8月31日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	53名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	14名
Ⓓ 全正会員数	67名
Ⓒ ①の出席者数	25名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	2名
Ⓔ ②の出席者数	8名
Ⓖ = Ⓒ + Ⓔ + Ⓔ (メイクアップ補填後の出席会員数)	35名
Ⓕ = Ⓓ - (Ⓑ - Ⓔ)	61
Ⓖ = Ⓖ / Ⓕ × 100 (例会出席率)	57.3%

▶例会日：第1・第3木曜日(12:30) その他の木曜日(18:30～19:30)

▶例会場：白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局：〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5 (白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

本日のプログラム

■会長の時間

が楽しいロータ



佐藤幸彦会長

皆さん、こんばんは。まず、お客様を紹介させていただきたいと思います。関西大学社会安全学部、近藤先生をはじめとする10名の皆さんでございます。どうぞ着席されてください。はじめに歌とか歌ってびっくりされたんじゃないでしょうか。ちなみに、この中でロータリーの会合に参加したとか、またはお父さんがロータリーに入っているロータリアンだとかいう方はいらっしゃるんですか。いないですか。ロータリーというのはみんな初めてですかね。そんな変な集団ではございませんので。我々は奉仕をする団体で、社会のためにやっておりますので、気軽に食べながら結構です。肩の力を抜いて短い時間ですけども是非ロータリーを楽しんでください。さて、先週8月26日、27日とCKBチャレンジ県南ベースボール大会が無事怪我人も熱中症も出さずことなく終了することができました。ありがとうございました。参加された会員の皆様、お疲れ様でございます。ちなみに、優勝は石川義塾中学校。準優勝が玉川中学校。ちなみに、優勝は白河西ロータリーで寄贈させていただいた優勝旗があるんですが、今回準優勝のトロフィーということで、逗子開成中のほうから寄贈いただきました。その準優勝カップを持っていったのは、玉川中学校でございました。3位に白河第二中学校。同じく、逗子開成中が3位でございました。私感動したことがございまして、入場行進やら生徒のふるまい等非常に感心したんですが、一番感心したことが、選手宣誓を私が一番前にいて選手の一人が前に来てするわけなんです、選手宣誓をした選手は逗子開成中、前回のチャンピオンのキャプテンでありましたが、遠くから見るとわからないんですが、私の目の前の1メートルも離れてないところでやったんですが、足がガタガタと震えてたんですね。それでも、詰まることなく一生懸命やったのが私すごく感動しました。その夜、ちょっとそのキャプテンと話すことができました。ちょっと足震えてたんじゃないって言ったら、もうガクガクでしたって本人漏らしてたんですが、でも立派な選手宣誓だったよと褒めたら喜んでました。また、そのキャプテンのお父さんと話すこともできて、息子さんすごかったよ、すごい素晴らしい選手宣誓でしたと言ったところ、いやーありがとうございましたという形でちょっとほっとした部分

がございました。今日はいろいろお話があるということで短くしますが、最後にまだまだ暑い日が続いております。また、コロナなんかはマスクでは取り上げる回数が少なくなっておりますが、感染人数が多分増えているという状況も入っておりますので、皆様には体を気をつけて頑張っていたいただきたいと思います。

○ゲストの紹介

松永紀男会員



皆さん、こんにちは。本日のお客様を紹介させていただきます。関西大学、近藤誠司教授をはじめ、大学院生1名、学生さん9名の合計11名で今日お越しいただいております。ありがとうございます。簡単にここに至る経緯といえますか、状況をご説明させていただくんですけども、近藤先生のゼミナールでは2006年2007年頃から福島県内でフィールドワーク、いわゆる現地学習をかなりやっております。私、関西大学の卒業生なものですから、そういったものを一部アテンドさせていただきながら、今、西郷村と共にいろいろ防災に関わる活動をさせていただいております。たまたまといえますか、今回4日間の行程でこちらのホテルに同宿させていただいてるもんですから、せっかとお食事の時間がかぶりますし、良い機会ですので是非我々のといえますか、関西大学の活動も知っていただきたく。また、学生さんのほうにはロータリークラブというものがあるというものなのかというのを、少しでもかじっていただくために今日は同席させていただきました。よろしくお願いたします。お手元に今朝の新聞記事を配布させていただいてると思うんですけども、西郷村とは防災無線の放送を学生さんに録音して村民に放送させていただく。あと、今は防災体操といましてちょっとしたアレンジしながら防災に関する体操をやって、それをYouTube放送で村内に流すといったような活動を継続的にやらせていただいております。そちらのほうの様子は、これもホルダーの中に入れていただいております。毎回登場する「こみっと」の創刊号。去年の11月の創刊号のほうで、その辺の様子は実は特集させていただいております。各ケースの中に配布しておりますので、そういった地で活動させていただいておりますので、以降も継続的にいわゆる、自治体、学校、この辺の小学校でありますとか、あと大学も含めて連携させていただきたいと思っておりますので、今後も是非見守っていただければと思っておりますので、よろしくお願いたします。



■幹事報告

村上堅二幹事

- 右近ガバナー事務所 芳賀美宝子：地区HPからダウンロードする場合のパスワードについて
- 右近ガバナー事務 芳賀美宝子：ロータリー文庫決算・予算書送付の件
- ロータリー財団：ロータリーオンライン募金ツールができました
- 実行委員長 班目秀雄：第10回cycle road race「城d'白河2023」ご協力願い
- ロータリー日本事務局 クラブ・地区支援室：第1回クラブ・地区支援室メッセージ
- 米山記念奨学会委員会委員長 吉田喜一、推進委員長 今川了一：米山月間での奨学生の卓話について
- 日本事務局財団室：財団室NEWS 2023年9月号
- 直前ガバナー事務所事務局 佐藤直子：直前ガバナー事務所閉鎖後のご連絡先について
- 右近ガバナー事務所 芳賀美宝子：9月9日（土）開催「社会・国際奉仕委員会セミナー出席者名簿確認のお願い」

■委員会報告

○野球愛好会



居川孝男助監督

野球愛好会よりお知らせいたします。野球愛好会、本来は監督の吉田のほうからご挨拶するところですが、所用により助監督の居川のほうからお話させていただきます。まずもって関西大学の皆さん、ようこそ。実は白河西ロータリークラブ、関西という甲子園球場に6月25日、プレーしてきました、甲子園球場実は7回くらい出ております。わたくし67歳なんですけど、現役で三塁を守る。そして、大分中央ロータリークラブ、今年は10対3で勝ってきました。ということで、元気の秘密は野球にもあるし、うちのクラブはゴルフとかいろんな愛好会あって、結構盛んにやって皆明るくやってくるクラブでございます。さて、話はさておき明日福島のほうに行きまして福島県予選、東北大会福島県予選を行ってまいります。土曜日には、東邦みんなのスタジアムで試合を行います。バスのほうで行かれる方、明日の集合時間メールで回っていると思いますので、「アジア」さんのほうに集合ということになりますので、よろしくお願ひします。また、今回の大会によりまして毎度毎度でございます、本当に永野パスト会長、あと吉野キャプテンが不参加ということで大枚を預かっておりますので、熱中症にならないように水分を補給して西ロータリークラブの名前をまた上げてきたいと思ひます。残る方はご支援のほう、よろしくお願ひします。

○米山記念奨学会

安部和夫委員長



どうも皆さん、こんばんは。米山記念奨学会委員長の安部です。特別寄付金の申し込みをお願いしてんですが、3人の方から申し込みの要望がありました。ありがとうございます。ちなみに、金田昇会員。それから、遠藤敦会員。そして、わたくしということで、まだまだ受け付けておりますので、是非手を挙げていただいて申込みいただきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

○親睦活動委員会

吉成真五郎委員長



皆さん、こんばんは。親睦活動委員会からクリスマス例会についてのアンケートということで、先日ファックスとメールで流させていただいたんですけども、ちょっと気が早いようなんですけど12月14日にクリスマス例会を予定しております、そこでロータリー会員と会員の家族の皆様で楽器の合奏を企画しております。合奏というのは、その当日にすぐできるようなものではなくて結構準備も必要だということで、楽器のできる方を募るということでアンケートを流させていただきました。是非、成功させたいと思っておりますので、楽器のできる方、それから家族の方で楽器の経験のある方、アンケートのほうにお答えいただきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

■本日のプログラム

○プロフィールのご紹介

松永紀男会員

近藤先生の具体的なプロフィールご紹介させていただきます。京都大学法学部ご卒業で、元NHKのディレクターをされております。かなり評判の良い作品なんかも作っておりますし、現在も様々なメディアで番組の企画や制作に携わりながら、マスメディア等の出演も多い方でありまして、本なんかも結構出されておりますので、是非ご覧になっていただけたらと思ひます。

○関西大学社会安全学部

教授 近藤誠司様



関西大学社会安全学部の近藤です。会場の皆さん、こんにちは。そして、本来の皆さんもよろしくお願ひします。今日は急遽お話をいただいて準備をいたしましたので、難しい話はほとんどなしでねと聞いておりますので、柔らかい話題提供させていただきますと思ひます。今、画面に映っているゼミの仲間、学部生や大学院生と共に防災の取り組みをあちこちで行っています。社会安全学部っておそらく聞いたことがある方はいないのではないかとと思ひますが、関西大学13学部目の若い学部になります。2010年に開学しました。つまり、東日本大震災が起きるより前に作ったんですね。日本でもやがて巨大な災害が起きるかもしれないということで準備をしていたところ、学部を始めましてその年の年度に震災が起きたわけです。それ以降、東北各地で調査や研究などをさせていただいています。そして、普段は防災だけではなくて、あらゆるリスクに向き合う。例えば、感染症もそうですね。夏の食中毒とかもそうですね、この間韓国で起きたような群衆事故なども研究調査をしています。私はその中で情報やメディアを専門にしまして、情報を賢く使うことで人々の命を救うようにしたい。そういうことで研究や調査や取り組みをしています。今、国連などの世界防災会議などではダイバーシティ&インクルージョンの、防災の世界でも頑張ろうの掛け声を挙げています。多様性と包摂、包み込むことですね。包み込み合うことです。弱い立場の人も包み込んで防災をしないと、皆の命が守れないぞということですね。今日、先程ロータリークラブの皆さんの4つのテストのプレートを見ていましたけれども、特に4番目のみんなのためになるかどうかを試される。とても強く試



される要因が防災なんです。甘い事をやっていたら命が失われてしまうかもしれない。明日はちょうど関東大震災から100年の日を迎えますけども、国も自治体も地域も手に手を取って防災の取り組みをする必要があるわけです。そこで我々は、私たちのゼミはいろんな人を対象にした取り組みを編み出していこう。子供のため、お年寄りのためなど多様性考える必要がありますね。子供たちにとっての防災はとても面倒くさいかもしれない。押しつけかもしれない。しかも、怖い話が多いので少し楽しみながら展開しています。例えば、兵庫県神戸市ではお昼休みの校内放送とおして毎週月曜日になると防災のお話をするという取り組みを10年続けています。そうしますと、6年間毎週月曜日に防災の情報に触れるので、とても子供たちもたくましく育つわけですね。高齢化社会を迎えています。高齢化した市営住宅、公営住宅では、お年寄りのために防災の瓦版を作って全戸配布しています。しっかり読んでいただくことで馴染んでいただく。これまでの習慣をある程度改めないと、最近の豪雨災害や土砂災害には立ち向かえない。そんなふう意識を高めていただいています。福祉の領域の力、助けも必要です。例えば、聴覚障害の方がいたら、手話で情報を届けられないといけない。その取り組みを広めるために、学生がYouTubeで防災について手話で伝える、伝え方を伝えるという動画を作ったりしています。兵庫県尼崎市では、難病患者さんの団体と防災の取り組みを進めています。この社会の中で最も弱い立場である方、障害がある方や病気である方、そうした皆さんと共に考えることで新しい取り組みも編み出されよう

としています。今、画面に映っているのは筋肉がどんどん衰えてしまう病気である患者さんですけれども、寝たきりのままでも津波非難するための訓練をされているよ、マンションのベランダの手すりを抜いて避難所に向かう取り組みをしているんだよ、と教えてくれました。沢山の市民、住民がいる場合にはやはり情報が力になる。滋賀県草津市ではコミュニティFMラジオ放送を通して防災の番組情報を届けています。毎月2回、30分の番組。今月、ハッピーなことに第150回を迎えました。ジャパン・レジリエンス・アワードという賞もいただきました。地道な取り組みが求められます。おそらく皆さんの、このロータリークラブの皆さんの取り組みも地道な取り組みの蓄積なのではないかと思いますが、我々も思いを一つにしているわけです。山間地域がこの辺りもありますが、高齢化した山間地域は土砂災害に備えないといけない。孤立します。過疎の地域は大変厳しい。福井県の山の中でもプロジェクトをしています。ご年配の方と簡単な機材を持ち込んで斜面を観測、計測して土砂が流れてこないかなと日常的にチェックをし、その成果をまとめて瓦版を配っています。やはり、ご年配の方はスマホだなんだ、アプリがなんだといってもなかなか伝わらないので、こうした取り組み方、工夫をしているわけです。こんなふうにして取り組んでいる中で、やはり福島の方と一緒に考えたいと思ったわけです。今から7年程前になりますけども、我々は双葉町の皆さんとご縁がありまして、いわき市に作られた仮設住宅で交流事業を始めました。災害に対する備えを学ぶには、一度被害に遭った皆さんにリアルな話を伺うのが一番近道かな。交流を重ねる中で、七転び八起きのだるま。こちらは白河だるまというよりは双葉だるまを書いてありますけれども。だるまを折り紙で折って、それに思いを寄せることで福島を忘れないよ、しっかり支援していくよ、そんなような交流を続けたわけです。ご年配の方と、関西、大阪にいる時に、京都にいる時に、だるまの折り紙を折って福井に思いを寄せるという取り組みで、時おり沢山集まると南台の仮設住宅に届けていました。すると、今度は関西でご記憶ですかね、2018年西日本豪雨というものがおきまして、あちこちで被害が出た。南台仮設住宅の皆さんが、双葉町の皆さんが思いを寄せて、関西のために折り紙だるまを折ってくださった。それを上手くり、バトンすることができました。困った時はお



互い様で助け合う。そうしたことを我々もお手伝いできたし、学ぶことができた。そして、若者ならではのメディアとしてインスタグラムなどでも発信をしています。ラジオ番組などでも特番を組んで折り紙だるまを作っていました。こうした動きを広めている時に、当時の復興大臣の吉野先生から表彰していただくような、そうしたご縁もいただきました。そして、ご縁は更に広がるわけです。防災の分野では、支援が始援という言葉がありまして、縁を始めることが力になるよ。そういうふうにご縁をいただいています。一人の力は限られていますけれども、みんなの力を束ねること、それには縁を生かすことが大事ですね。最初に我々に縁をいただいたのは、関西大学校友会の福島支部長をされています、こちらの会場にいらっしゃる松永さんになります。今、写真を勝手に使っているのが苦笑いさされてる様子が見えましたが、松永さんに出会って福島のことをもっとよく知ってほしいなと声をかけていただきました。そして、先程の吉野先生から表彰をいただいた時にも、上杉先生からもご指示をいただきまして、学生が表彰していただく、こんなご縁をいただいたわけです。さて、福島のことをよく知ってほしいというのが、我々が双葉郡のほうですね。足を運ぼうとしていたばかりだったんですけども、福島県大きいよ、広いよ、魅力がいっぱいあるよ、西郷や白河、素敵な所だよということで、こちらにも通うようにもなった。最初はこちらの綺麗な場所、美味しい食べ物を知るといって、枝垂れ桜の頃に伺ったり、会津のほうに足を延ばしてみたり。そして、磐梯山、五色沼。磐梯山の噴火というのが、日本の災害史では災害ボランティアが始まった出発点ですけども、そうしたことも学びに伺いました。これは昨日の様子ですけども、西郷村村内をあちこちお邪魔しています。お邪魔しているばかりだと、ちょっと遊んでいるような写真に見えたかもしれませんが、我々は防災の取り組みをするゼミナール。何かできるぞということ、大竹さんにご縁をいただきまして役場とできるよと、いろいろできるよと。西郷村役場、伺いました。僕らができるのは情報やメディアですよということ、じゃあさっきご紹介のコメントの中にありましたが、防災行政無線で防災の豆知識を放送したら耳に馴染むんじゃないかなという取り組みをチャレンジしてみました。まあ、一年半程ですね。お休みの時間に放送させていただいてましたけども、お子様たちにアンケートした時に半分くらいの子供たちが印象に残してくれていました。防災無線はデジタル化して今は放送していませんので、そこで今は乗り換えましてYouTubeの配信をしているということですね。西郷村の公式YouTubeチャンネルの防災のコンテンツは近藤ゼミが制作していますので、また見ていただくと嬉しいなと思います。「こみっと」さんでも紹介いただいているところです。さて、防災の取り組みというのがやはりみんなの問題なんですね。西郷だけではなくて、福島県全域。我々はそれを学びながら取り組みを進めたいということで、また縁を広げていただきました。今年の3月11日には、白河市葉ノ木平で地滑りがあった現場で実際にお邪魔させていただきました。自治会長さんや市長さんからも当時の様子や、これからこそ災害を伝承していくことが、経験を伝承していくことが大事だということをお教えいただきました。さらに足を延ばして須賀川。ダム湖が決壊したわけですけども、こちらにご縁をいただきまして明日

も調査に伺う予定になっています。ここでも、何を次代に残していくのか今問われている。そういうことで、今日は10人若者が来ていますけれども、若い学生に学んでいただこうとしているわけです。そして、お手元にあります新聞のとおり、昨日は西郷村羽太小学校で防災授業を行ってきました。子供たちもしっかり投げかけるとしっかり向き合ってくれます。防災のお話難しいなと思うかもしれないけども、一人一人が意見を出して避難所をどうしたらいいのかなと考えてくれました。こうして全校児童と触れ合いました、今スクリーンには5、6年生だけ映っていますけれども、特にこの高学年の児童とは今後も防災教育プログラムで一緒にいきたいと考えております。というのも、大竹さんのご縁をいただいたわけですけども、画面の向かって右から二番目の羽太小学校の大倉校長先生からも、やっぱり子供たちに防災伝えてほしいと力強くお声いただきましたので、我々もできる限りのことをしていきたいと思っています。今日伝えなかったのは実はこのスライドだけで、防災、安全、安心はみんなの問題なのでみんなで頑張る必要があるぞ。先程の4つのテストの4番目のみんなのためになるかどうか本気で試されているのが防災の領域ですので、是非皆様とも一緒に取り組みをする機会が持てたらなとそんなふうにご縁をいただいております。駆け足になりましたけれども、私からの話題提供は以上とさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

○会員増強委員会

緑川直人委員長



皆さん、こんばんは。会員増強委員会の委員長を仰せつかっております緑川でございます。まず、近藤先生、わかりやすい研究の説明をいただき、誠にありがとうございました。わたくし事ですが、つい二日前に災害物流専門家研修というのを受けてきました。それは行政と物流の助言なり、あとは実行動なりというものを勉強してきたところだったので、そういった幅広い視点から見たものと専門的なものからリークして何かあった有事の際には協力し合えればいかなと思えました。どうもありがとうございました。では、本日お話いただく西山よしえ様なんですが、簡単にご紹介をさせていただきます。2019年の7月11日に、「水の谷工芸株式会社」法人化されました。その際に代表取締役社長に就任されております。看板屋さんとしては1973年に創業されているということでもあります。今はそのブランディング等、いろいろと幅広くやっておられるということで、今日聞かせていただけるかなと思っております。では、よろしくお願いたします。

○水の谷工芸株式会社 代表取締役社長

西山よしえ様



改めまして、こんにちは。先月、新入会員としてこちらの白河西ロータリーに入りました西山よしえと申します。本日は人となりをお話せよということですね、こんなに沢山のゲストの方がいらっしゃるとは思いませんので少し緊張しておりますが、こういった女性もいるんだということでお耳を拝借できれば幸いです。改めまして、西山よしえと申します。先程、

ご紹介ありましたように広告デザインをしております「水の谷工藝株式会社」の代表取締役を務めております。グラフィックデザイナーとして長く勤めてまいりました。SDA個人会員ということで、広域社団法人日本サインデザイン協会のほうに所属しております。賞もいただいておりました、「福島交通株式会社」さんの100周年事業、プレイベントのバスボディカラーデザインパッケージというところの大賞をいただいております。水の谷工藝に入社して、2022年まで年500

件以上デザインとして案件を納めさせていただきました。色彩検定は3級ということで、1級2級チャレンジをちょっと断念はしておりますけども、なかなか難しいなというふうに感じております。

屋外広告講習修了、福島県商工会連合会エキスパートバンク登録、ちょっと広く浅く、心理学というところで今、行動する時にどんな作用を及ぼすかということをし勉強いたしました。こちらが受賞しましたバスボディのデザインでございまして、福島交通さんの高速バスに採用をいただきました。公募のテーマが未来のバスということで、応募総数が800点でございました。磐梯山を筆で描きまして、磐梯山を背景に試乗会をおこなった写真になります。また、「株式会社カタノ」様ということで商品のロゴデザインをいたしまして、「そばパスタ」という耕作放棄地をそばで持続可能な商品ということで、商品をより分かりやすくデザインしたというものを開発の魅力と共に入賞をいただきました。今回、私が軸としてお話しするのが、主婦、パートとして生きていくというふうな考えてお



ました人生から、経営者に何故なったのかというふうなところをお話できればと考えております。私が生まれた時には、もう既に父が看板屋として創業しておりました。父も遮断器を製造する「大同信号」さんという所に務めておりました。東京でサラリーマンをしておりましたけれども、中島村に祖母が、私からとっては祖母が一人で暮しているというところ、やはり心苦しく思ったというところ、自分一人で何かやってみたいというところで、塗装業として最初は起業したというふうになっています。もうちょっと付加価値が付くところで看板屋ということで、当時は会員でいらっしやいます「池田工芸」さんに弟子入りを志願したようなんですけども、いっばいで断られたということで。その後、修行してなんとか独立したということでございます。5年後私が誕生しまして、妹と弟がおります。長女として育ちました。父の勧めもあって美術の道に進んでまいります。郡山女子大学付属高校の美術科。短期大学の地域創生学科というところに入社をしまして5年間美術の道を進みました。非常に仲間達とその美術の道というところを極めていく生活をさせていただいて、楽しい学生時代だったなというふう記憶しております。また、好奇心旺盛ということでアルバイト、旅費を溜めて単身ア

メリカに2週間ばかり一人で行ってきたという経験がありますが、全く英語は話せません。10代20代の価値観というところでは、やはりデザインをすることであつたり、そういった芸術活動できるということが、生きる喜びであったなと思っております。その郡山市で制作会社に入りまして、「JR東日本企画」さんであつたり、薄皮饅頭という福島の銘菓でございんですけども「株式会社柏屋」さんなどの販促のデザインなどを担当させていただきました。郡山市でそういったデザイナー生活を満喫して非常に楽しいなという中、父から中島村へ戻って来いということで連絡が入りまして、父が60の頃ですかね。私が26歳ということで泣く泣く帰ったというような記憶がございます。戻りましたら、ご縁をいただきまして結婚することができました。現在は娘3人の母でもございます。こちらは、私の兄弟もパートナーと子供に恵まれまして、父と母からすると孫が今9人。楽しい結婚生活ということで、嫁、主婦というところと、夫も全く別の仕事をしておりまして、地方公務員ということでサポートするという生活なんだろうなというふうな30代は思っておりました。やはり、女性として夫をサポートして子供のために生きていくということは幸せですし、その中で家業のサポートができれば、そのような価値観でおりました。そんな中、実の弟から経営塾に通わぬかということで、栃木の経営人材塾という所に一年間通いまして、法政大学の元坂本光司教授を主軸に名立たる経営者の方に講義いただけるという所で、宇都宮に一月に一度通ってまいりました。私は第二期ということで全く経営の「け」の字も知らない状態で入塾をしました。その当時の講師陣ということでございますが、その中でも印象に残ったのが「五感経営」ということで、「石坂産業」の石坂社長、「年輪経営」の「伊那食品」の塚越会長の経営哲学に感銘を受けましたし、やはり同期の同年代の女性経営者の活躍に刺激を受けました。こちらは「石坂産業」の石坂社長です。とても素敵だなというところで現在もWEBからこちらもちょっと拝借しております。あと「伊那食品」さんですね。塚越会長です。こちらが同期の女性経営者ということで、一番ショックだったのは同年代で母親業をしながらもバリバリに宇都宮で活躍してらっしゃるというところが、私としてはカルチャーショックということでした。その中でも、「ばんどう太郎」の青谷会長から懇親会でお叱りをいただきまして、こちら現在の「ばんどう太郎」さんのウェブサイトでございますが、正社員200名ということで関東を中心に84店舗展開をしていらっしやいます。どうお叱りを受けたというと、いつまで年をいった父に経営をさせているんだということでございます。私が悪いのかということで、初めて自分事として捉えることができたなということを経験いたしました。私の価値観として、やはり兄弟の中でも長男という弟がおりますし、そういった男性が継ぐべきだという固定観念もありました。そうして女性はお家で外で働くのは男性という、そういった価値観は少なからず私の中にもありましたので、私がすべきなのかな、というような考えがこの時もありました。なんだかんだ言いながらようやく行動計画など発表して無事終了ということで、主婦、パートの傍ら、後継の道に進んでいきます。やれるかどうか自信のない中でも、父の築いてきた信頼をなくすことはできないというのが一番の思いでございましたし、やはり目の前のお客様のために自分にでき

ることが事業を存続することであるというふうには決断をいたしました。2019年に法人化しまして事業を引き継ぎいたしました。この時の人材塾の皆さんにご報告した際の写真でございます。いろいろと経営の事を学びながら栃木のほうにご縁をいただいているわけですが、白河では「5Sの関」という産業サポートさんの事務局になってる会に入会をいたしました。5Sの取り組みというところでご指導に来ていただきました。まず、父の工場がどんなふうになってるかわからないというところで、現状把握のため、いろいろと安全確保のためにも整理整頓というところをおこなってきました。ちょっとお恥ずかしい限りではございますけれども、このような形で働く場という所を少しずつ家業から企業にするというような事をしております。現在の社屋でございます。少し格好よく撮っていただいた映像がありますのでご覧ください。



～～映像上映～～

改めまして「水の谷工藝株式会社」ということで、白河市に隣接しております小さな村でございます。現在は、看板の設計、制作、メンテナンスの他に、販促の制作であったり、ブランド構築というふうには位置付けてまして、ビジュアルアイデンティティというVIというデザインであったり、パッケージ、WEB、キャラクター、アニメーションの制作などもしております。経営理念というものも策定をいたしました。「想像力で人の心を動かす原動力になる」ということで、ものづくりを通してお客様の販促活動のお役立ちになればという思いで策定をいたしました。ビジョンは「私たちのサービスでお客様応援団No.1になる」ということで、サービスの質を上げて、お客様の応援をできる会社になろうというところでございます。また、自らが感動してそういった事を与えられる、地域に必要となる人材となりましょうということを掲げております。経営の勉強ということで、皆に冊子をお渡しして理念と経営というものをういて勉強会を月1回行っております。また、朝礼は自分でマネジメントできるようなそういったところを取り組みを行っております。そんな中、やはり嬉しかったのが昨年スタッフが看板屋さんのデザイン賞をいただいたということでございます。この白河地域のデザインの取り組みの一例ですが、白河JCさんの「ツール・ド・しらかわ」のロゴを作成させていただきました。私はJCの会員ではございませんけれども、お声がけいただきまして



こういったことで白河のお役に立てるといった機会をいただき、嬉しかったなというところでございます。JCの50周年のロゴもデザインをさせていただきました。また、「楽翁堂」ということで白河のギフトセットは何かないだろうか

ということで、こちらはウェブEC限定の商品となっておりますけれども、白河のお土産屋さんということで、コンセプトはダライザーの和知さんからいただいた案件でございましたけれども、ビジュアルのほうを担当させていただきました。白河を中心に30社がこちらのほうに出店いただきまして、白河のお土産ということでお買い求めいただけるということでございます。特に、白河には3つの酒蔵がありますけれども、一遍にその酒蔵の酒を買うということがなかなか酒造組合の縛りで出来なかったというふうには聞いておりますけれども、こちらの「楽翁堂」を介してそういった事が可能になったということを知っております。あとこちらは泉崎村と郡山市に2店舗ございます豚肉専門店「ノーベル」様でございます。そちらのロゴからファサード等をオープン時から担当させていただいております。また、白河西ロータリーさんの「吉田技研」さんのロゴデザインであったり、パンフといった所を担当させていただ



ております。現在の、急に話し飛びますけど広告業の現状というところですが、大体7兆円というような規模になっておりまして、そちらの内訳というのが非常に変わってきております。2007年は、やはりマスコミというところが非常に割合を占めておりまして、インターネット広告は8.6%で、私たちが位置するプロモーションメディアというところですが、そちらの構成比はだいぶ狭まっておりまして、こちらのインターネットとプロモーション、両方サポートしていくことが必要だなということを現在も感じております。両方サポートできるようなそういった会社にしていきたいなというふうには現在取り組みを重ねているところでございます。うちのスタッフが作成したうちの紹介動画を流していきます。

～～紹介動画上映～～

はい、ありがとうございます。また、経営の道を、私の背中を押した実の弟は現在「ソニー生命」で宇都宮支社におりますけれども、特例で家業によっては経営して良いということで、昨年からは取締役として入ってもらいまして、現在新しい商品を生み出しまして、顧客心理のデータ分析サービスということで「OCAGE」というものを販売しております。自社がどういった認知があるのかといったところを、そのエリアに市場調査というようにところを行いまして、販促活動をより効果的におこなっていかうといったことをごこなっておりますので、興味のある方は是非お声がけいただければ幸いです。今、自らの志と社会のお役に立てるような経営者となって良い経営を目指してスタッフと共に成長していければなというふうには考えておりますので、どうぞご指導これからもよろしく願いたします。今日は、ご清聴ありがとうございます。

第10回CKB中学校野球大会

8月26日(土)
27日(日)



入場行進



優勝旗返還



選手宣誓



大会会長挨拶



衆議院議員 上杉謙太郎挨拶



閉式の言葉



優勝 石川義塾中 準優勝 玉川中 三位 白二中・逗子開成中-A